

大阪医科大学学報

第34号 平成9年11月

大阪医科大学創立七十周年記念式典



田中理事長式辞

◆目

創立70周年記念式典・祝賀会	2
規程の改正	3~14
計 報	15
法人〔顧問の委嘱〕	15
人事〔採用、退職、昇任、異動、 委嘱・解嘱、海外渡航〕	15~18
新任教授紹介	18
盛記念学術賞受賞式	19
学位記授与	20~21
助成金関係	22

次◆

平成10年度入試要項	23~26
教室紹介	27
海外出張記	28~29
海外渡航記	29~30
学内行事	30~32
会議・行事予定	32~33
附属病院関係	34
保健管理室からのお知らせ	35~38
俳 句	39

創立70周年記念式典・講演会・祝賀会

去る10月4日（土）午後2時から、高槻現代劇場において大阪医科大学創立70周年記念式典・中山太郎衆議院議員による記念講演会が挙行政され、引き続き同文化ホールにおいて記念祝賀会が開催されました。

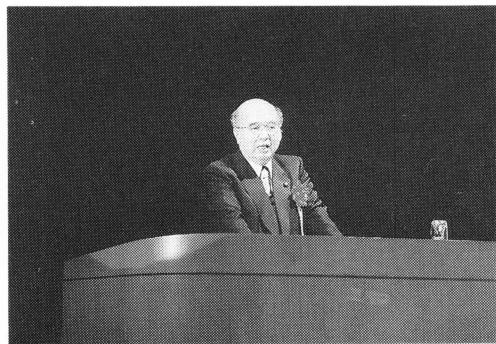
当日は小雨模様の天候にもかかわらず、式典には文部省医学教育課長を始め240名の来賓の方々に出席いただき、本学役員及び教職員、学生、看護学生を合わせて600名以上の参加となりました。

式典は、吉田記念式典実行委員長の開式の辞の後、本学グリークラブによる国歌斉唱、関係物故者への黙祷が行われ、田中理事長の式辞、藤本学長の挨拶に続いて、文部大臣、厚生大臣、日本私立医科大学協会会長、大阪府医師会長、高槻市長の祝辞を頂戴して、盛大かつ厳粛に終了いたしました。

式典終了後、中山太郎衆議院議員（本学昭和27年卒業）の記念講演会が行われました。

東理事による経歴紹介の後、『国際医療協力』という演題で、元外務大臣としての豊富な経験に基き、グローバルな医療問題について、幅広い見識と先見性が示されました。

また、世界保健機構（WHO）事務局長の中嶋宏博士のビデオメッセージが投影されました。



講演終了後、会場を高槻現代劇場文化ホールに移して、3階コンベンションルームを主会場として記念祝賀会が開催されました。

藤本学長の挨拶、藤本仁泉会理事長、西島大阪府会議員からの祝辞を頂いた後、ロシア太平洋艦隊合唱団（アンサンブル）によるロシア民謡を中心とした歌と踊りが披露されました。ロシア最高のアンサンブルと評価を受けた合唱団の素晴らしい演奏の余韻が残る中、平井理事の音頭取りで鏡開き、佐藤理事から乾杯の発声があり、祝宴に入りました。最後にグリークラブを中心に全員で学歌を唱和した後、祝賀式は盛況の内に終了いたしました。



学則の一部改正について

大阪医科大学学則の第36条第1項が、次のとおり一部改正されました。

(関係条文新旧対照表)

新

第七章 授業料その他の納入金
(授業料その他の納入金)
第36条 授業料その他の納入金、及び納入期限は、次のとおりとする。

(第一学年次)

期間	納入期限	納入金額			計
		授業料	実習料	施設拡充費	
第1期	入学時	55万円	11万円	37万円	103万円
第2期	9月15日	55万円	11万円	37万円	103万円
第3期	1月15日	54万円	10万円	36万円	100万円
合計		164万円	32万円	110万円	306万円

(第二学年次以降)

期間	納入期限	納入金額				計
		授業料	実習料	施設拡充費	教育充実費	
第1期	4月15日	55万円	11万円	37万円	90万円	193万円
第2期	9月15日	55万円	11万円	37万円		103万円
第3期	1月15日	54万円	10万円	36万円		100万円
合計		164万円	32万円	110万円	90万円	396万円

2
1
2 (省略)
3
4

附 則
この改正は、平成10月4月1日から施行する。
但し、平成9年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

旧

第七章 授業料その他の納入金
(授業料その他の納入金)
第36条 授業料その他の納入金、及び納入期限は、次のとおりとする。

(第一学年次)

期間	納入期限	納入金額			計
		授業料	実習料	施設拡充費	
第1期	入学時	53万円	11万円	35万円	99万円
第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	97万円
第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	97万円
合計		157万円	31万円	105万円	293万円

(第二学年次以降)

期間	納入期限	納入金額				計
		授業料	実習料	施設拡充費	教育充実費	
第1期	4月15日	53万円	11万円	35万円	90万円	189万円
第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円		97万円
第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円		97万円
合計		157万円	31万円	105万円	90万円	383万円

2
1
2 (省略)
3
4

就業規則の一部改正について

勤務時間、休憩時間、休日に関する条項について勤務部署別に明確にするため、就業規則が次のとおり改正されました。

(関係条文新旧対照表)

新	旧
第7条 職員の労働時間は、 <u>週40時間以内とする。</u> <u>但し、職種によっては、業務の必要から、4週間を平均して1週間の労働時間が40時間を超えない範囲で変形労働時間制をとる。</u>	第7条 職員の <u>勤務時間</u> は、 <u>別表の通り</u> とする。 (別表は別紙2のとおり)
第8条 職員の勤務時間及び休憩時間は、次のとおりとする。 <u>二 教育職員</u> <u>事務職員（図書館・病院看護部・栄養給食課に勤務する者を除く。）</u> <u>技術職員（電話交換手・栄養給食課に勤務する者を除く。）</u> 別表1 <u>二 図書館に勤務する事務職員</u> 別表2 <u>三 病院看護部に勤務する事務職員</u> 別表3 <u>四 栄養給食課に勤務する事務職員</u> 別表4 <u>五 電話交換手</u> 別表5 <u>六 栄養給食課に勤務する技術職員</u> <u>(ア) 事務室担当者（栄養士）</u> 別表6 <u>(イ) 一般食担当者・特別食担当者</u> <u>(栄養士、調理師)</u> 別表7 <u>七 看護職員</u> <u>(1) 看護婦、准看護婦</u> <u>(ア) 看護部長室及び外来勤務者</u> 別表8 <u>(イ) 病棟勤務者</u> 別表9 <u>(ウ) 中央手術室勤務者</u> 別表10 <u>(エ) 中央材料室勤務者</u> 別表11 <u>(2) 看護補助員</u> <u>(ア) 病棟勤務者</u> 別表12 <u>(イ) 外来勤務者</u> 別表13 <u>(ウ) 中央手術室勤務者</u> 別表14 <u>(エ) 中央材料室勤務者</u> 別表15 <u>(オ) 保育室勤務者</u> 別表16 <u>(3) 保母</u> <u>(ア) 病棟勤務者</u> 別表17 <u>(イ) 保育室勤務者</u> 別表18 <u>(4) 看護助手</u> 別表19 <u>八 労務職員（栄養給食課に勤務する者を除く。）</u> 別表20 <u>九 栄養給食課に勤務する労務職員</u> <u>(ア) 一般食担当者（用務員）</u> 別表21 <u>(イ) 特別食担当者（用務員）</u> 別表22 (別表は別紙1のとおり)	第8条 職種によっては業務の都合で4週間を通じ1週間の労働時間が40時間を超えない範囲で別表の勤務時間と異なる取扱いをする事がある。但し、満18才未満、満15才以上の者は実働8時間を超えて業務をさせることはない。

新	旧									
第13条 <u>休憩時間に臨時の業務が発生したとき、所属長は、第8条に定める時刻を変更して所定時間の休憩を与えることがある。</u>	第13条 <u>休憩時間は1時間とする。但し、業務の都合で休憩時間に業務の発生した時は、所属長は適宜その時刻を変更することがある。</u>									
第14条 <u>休憩時間は、これを自由に利用することが出来る。但し、外出する場合は、所属上司にその旨を告げ、行先を明らかにしておかなければならない。</u>	第14条 <u>休憩時間は、これを自由に利用することが出来る。但し、所在を明かに、且外出する場合は所属上司にその旨告げなければならない。</u>									
第16条 職員の休日は、次のとおりとする。 一 日曜日 二 国民の祝日に関する法律に規定する休日 三 原則として、4週間に土曜日の2日又は8週間に土曜日以外の2日（別に定める4週6休実施要項による。） 四 12月29日から翌年1月3日までの日（前3号に掲げる日を除く。） 五 本学創立記念日（第1号から第3号に掲げる日を除く。） 2 業務の性質上、前項により休日を定めがたい交替勤務、時差勤務等の職員の休日は、次のとおりとする。 <table><tr><th>対 象 職 員</th><th>休 日</th><th>備 考</th></tr><tr><td>病院栄養給食課 一般食担当者 （栄養士・調理師） 特別食担当者 （栄養士・調理師）</td><td>第1項の定めによる年間の休日数と同数の休日を、3連続勤務日数の1日を休日として設けることを原則として、年間に割振って設定する。</td><td>当該月の4日前までに、勤務割振表により通知する。</td></tr><tr><td>病院看護部 （病棟勤務者） 電話交換手</td><td>第1項の定めによる月間の休日数と同数の休日を当該月に設定する。</td><td>前月の25日までに、勤務割振表により通知する。</td></tr></table> 3 前2項に定めるもののほか、必要と認めるときは、臨時の休日を設けることがある。	対 象 職 員	休 日	備 考	病院栄養給食課 一般食担当者 （栄養士・調理師） 特別食担当者 （栄養士・調理師）	第1項の定めによる年間の休日数と同数の休日を、3連続勤務日数の1日を休日として設けることを原則として、年間に割振って設定する。	当該月の4日前までに、勤務割振表により通知する。	病院看護部 （病棟勤務者） 電話交換手	第1項の定めによる月間の休日数と同数の休日を当該月に設定する。	前月の25日までに、勤務割振表により通知する。	第16条 職員の休日は、別表の通りとする。 （別表は別紙2のとおり）
対 象 職 員	休 日	備 考								
病院栄養給食課 一般食担当者 （栄養士・調理師） 特別食担当者 （栄養士・調理師）	第1項の定めによる年間の休日数と同数の休日を、3連続勤務日数の1日を休日として設けることを原則として、年間に割振って設定する。	当該月の4日前までに、勤務割振表により通知する。								
病院看護部 （病棟勤務者） 電話交換手	第1項の定めによる月間の休日数と同数の休日を当該月に設定する。	前月の25日までに、勤務割振表により通知する。								
第16条の2 <u>業務上その他やむを得ない理由によって必要がある場合は、前条に定める休日を他の日に振替えることがある。</u>										
第18条 業務上必要がある場合は、労働基準法（以下法という）第36条の定めによる協定の上、 <u>第8条に定める勤務時間以外及び第16条に定める休日</u> に勤務させることがある。	第18条 業務の都合で労働基準法（以下法という）第36条の定めによる協定の上別表の規定に拘らず時間外又は休日に勤務させることがある。									
附 則 （施行期日等） 1 この改正は、平成9年10月14日から施行する。										

別表 1 教育職員

事務職員（図書館・病院看護部・栄養給食課に勤務する者を除く。）

技術職員（電話交換手・栄養給食課に勤務する者を除く。）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
通常・ 全日勤務	平 日 始業 8 時30分～ 終業16時40分	①11時30分～12時30分 ②12時00分～13時00分 ③12時30分～13時30分 ④12時10分～13時00分 ⑤12時50分～13時40分 ①～⑤のいずれかを交替により与える。	
通常・ 半日勤務	土曜日 始業 8 時30分～終業12時40分		

別表 2 図書館に勤務する事務職員

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	平 日 1) 始業 9 時00分～ 終業17時10分	①11時30分～12時30分 ②12時30分～13時30分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは 1 ヶ月毎に各職員に前月の25日までに通知する。
	平 日 2) 始業12時00分～終業20時10分	16時30分～17時30分	
時差・ 半日勤務	土曜日 1) 始業 9 時00分～終業13時10分 2) 始業13時00分～終業17時10分		

別表 3 病院看護部に勤務する事務職員

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	平 日 1) 始業 8 時00分～終業16時10分 2) 始業 8 時00分～終業16時00分 3) 始業 8 時30分～終業16時30分	①11時30分～12時30分 ②12時30分～13時30分 ③13時30分～14時30分 ①～③のいずれかを交替により与える。	勤務割りは 1 ヶ月毎に各職員に前月の25日までに通知する。
時差・ 半日勤務	土曜日 1) 始業 8 時00分～終業12時10分 2) 始業 8 時00分～終業13時00分		

別表 4 栄養給食課に勤務する事務職員

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
通常・ 全日勤務	平 日 始業 8 時30分～ 終業16時40分	①12時30分～13時30分 ②13時30分～14時30分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	
通常・ 半日勤務	土曜日 始業 8 時30分～終業12時40分		

別表 5 電話交換手

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	1) 始業 8 時00分～終業16時10分	11時30分～13時30分の間で交替により60分	勤務割りは1ヵ月毎に各職員に前月の25日までに通知する。
	2) 始業 8 時30分～終業16時40分	12時00分～14時00分の間で交替により60分	
	3) 始業 9 時00分～終業17時10分	12時30分～15時30分の間で交替により60分	
	4) 始業 9 時30分～終業17時40分	13時00分～16時00分の間で交替により60分	
	5) 始業 10時00分～終業18時10分	12時30分～15時30分の間で交替により60分	
	6) 始業 13時00分～終業21時10分	14時30分～17時30分の間で交替により60分	
時差・ 半日勤務	1) 始業 8 時00分～終業12時10分		
	2) 始業 8 時30分～終業12時40分		
	3) 始業 9 時00分～終業13時10分		
	4) 始業 9 時30分～終業13時40分		

栄養給食課に勤務する技術職員

別表 6 事務室担当者（栄養士）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	平 日 1) 始業 8 時30分～ 終業16時40分	①12時30分～13時30分 ②13時30分～14時30分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは1ヵ月毎に各職員に当該月の4日前までに通知する。
	平 日 2) 始業 11時20分～終業19時30分	13時30分～14時30分	
通常・ 半日勤務	土曜日 始業 8 時30分～終業12時40分		

別表 7 一般食担当者・特別食担当者（栄養士、調理師）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	1) 始業 6 時45分～ 終業15時30分	① 8 時10分～ 8 時45分 ②12時30分～13時30分	* 勤務割りは1ヵ月毎に各職員に当該月の4日前までに通知する。 * 1年間の勤務時間は別表1と同時間とする。
	2) 始業 8 時00分～終業16時10分	12時30分～13時30分	
	3) 始業 10時30分～終業18時40分	13時30分～14時30分	
時差・ 半日勤務	1) 始業 6 時00分～終業10時45分	8 時10分～ 8 時45分	
	2) 始業 6 時45分～終業11時30分		

別表 8 看護部長室及び外来勤務者（看護婦・准看護婦）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
通常・ 全日勤務	平 日 始業 8 時00分～ 終業16時00分	①12時30分～13時30分 ②13時00分～14時00分 ③13時30分～14時30分 ①～③のいずれかを交替により与える。	
通常・ 半日勤務	土曜日 始業 8 時00分～終業13時00分		

別表 9 病棟勤務者（看護婦・准看護婦）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
交替・ 全日勤務	始業 8 時00分～終業16時10分	①11時00分～12時00分	（三交替勤務） 毎月 1 日を起算日とする 1 ヶ月単位の変形労働時間制とする。当該 1 ヶ月を平均し 1 週 40時間以下の労働時間となるよう当月分の勤務割りを前月 25日までに定め、各勤務者に通知する。
	1) 始業 7 時00分～終業15時10分	②11時30分～12時30分	
	2) 始業 7 時30分～終業15時40分	③12時30分～13時30分 ①～③のいずれかを交替により与える。	
	3) 始業12時00分～終業20時10分	①16時30分～17時30分	
	4) 始業13時00分～終業21時10分	②17時30分～18時30分	
	5) 始業16時00分～終業23時10分	①又は②のいずれかを交替により与える。	
6) 始業23時00分～終業 8 時10分	交替により60分勤務の中途に与える		
交替・ 半日勤務	1) 始業 8 時00分～終業12時10分		
	2) 始業 7 時00分～終業11時10分		
	3) 始業 7 時30分～終業11時40分		

別表10 中央手術室勤務者（看護婦・准看護婦）

区 分 等		勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	平 日	1) 始業 7 時30分～終業15時30分 2) 始業 8 時00分～終業16時00分 3) 始業 8 時30分～終業16時30分 4) 始業11時30分～終業19時30分	①11時00分～12時00分 ②11時30分～12時30分 ③12時00分～13時00分 ④13時00分～14時00分 ①～④のいずれかを交替により与える。	勤務割りは 1 ヶ月毎に各職員に前月の 25 日までに通知する。
時差・ 半日勤務	土曜日	1) 始業 8 時00分～終業13時00分 2) 始業11時00分～終業16時00分		

別表11 中央材料室勤務者（看護婦・准看護婦）

区分等		勤務時間	休憩時間	備考
時差・ 全日勤務	平日	1) 始業 8 時00分～終業16時00分 2) 始業 8 時30分～終業16時30分	①11時10分～12時10分 ②12時10分～13時10分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは1ヵ月毎に各職員に前月の25日までに通知する。
通常・ 半日勤務	土曜日	始業 8 時00分～終業13時00分		

別表12 病棟勤務者（看護補助員）

区分等		勤務時間	休憩時間	備考
時差・ 全日勤務		1) 始業 7 時00分～終業15時10分 2) 始業 8 時00分～終業16時10分 3) 始業 9 時00分～終業17時10分 4) 始業10時00分～終業18時10分 5) 始業11時00分～終業19時10分	①11時00分～12時00分 ②11時30分～12時30分 ③12時30分～13時30分 ①～③のいずれかを交替により与える。 16時00分～17時00分	勤務割りは1ヵ月毎に各職員に前月の25日までに通知する。
時差・ 半日勤務		1) 始業 8 時00分～終業12時10分 2) 始業 7 時30分～終業11時40分		

別表13 外来勤務者（看護補助員）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
通常・ 全日勤務	平 日 始業 8 時00分～ 終業16時00分	①12時30分～13時30分 ②13時00分～14時00分 ③13時30分～14時30分 ①～③のいずれかを交替により与える。	
通常・ 半日勤務	土曜日 始業 8 時00分～終業13時00分		

別表14 中央手術室勤務者（看護補助員）

区分等		勤務時間	休憩時間	備考
時差・ 全日勤務	平日	1) 始業 8 時00分～終業16時00分 1) 始業 8 時30分～終業16時30分 3) 始業12時00分～終業20時00分	①11時10分～12時10分 ②12時10分～13時10分 ①又は②のいずれかを交替により与える。 15時10分～16時10分	勤務割りは1ヵ月毎に各職員に前月の25日までに通知する。
通常・ 半日勤務	土曜日	始業 8 時00分～終業13時00分		

別表15 中央材料室勤務者（看護補助員）

区分等		勤務時間	休憩時間	備考
時差・ 全日勤務	平日	1) 始業 8 時00分～終業16時00分 2) 始業 8 時30分～終業16時30分	①11時10分～12時10分 ②12時10分～13時10分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは 1 ヶ月毎 に各職員に前月の25 日までに通知する。
通常・ 半日勤務	土曜日	始業 8 時00分～終業13時00分		

別表16 保育室勤務者（看護補助員）

区 分 等		勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考	
時差・ 全日勤務	平 日	1) 始業 7 時30分～終業15時30分	①12時00分～13時00分 ②13時00分～14時00分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは 1 ヶ月毎 に各職員に前月の25 日までに通知する。	
		2) 始業 8 時00分～終業16時00分			
		3) 始業 8 時30分～終業16時30分			
		4) 始業 9 時00分～終業17時00分			
		5) 始業 9 時30分～終業17時30分			
		6) 始業15時30分～終業23時30分	20時00分～21時00分		
時差・ 半日勤務	土曜日	1) 始業 7 時30分～終業12時30分			
		2) 始業 8 時00分～終業13時00分			

別表17 病棟勤務者（保 母）

区分等	勤務時間	休憩時間	備考
通常・ 全日勤務	平日 始業 8 時00分～終業16時00分	12時00分～13時00分	勤務割りは 1 ヶ月毎に各職員 に前月の25日までに通知する。
通常・ 半日勤務	土曜日 始業 8 時00分～終業13時00分		

別表18 保育室勤務者（保 母）

区 分 等		勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考	
時差・ 全日勤務	平 日	1) 始業 7 時30分～終業15時30分	①12時00分～13時00分 ②13時00分～14時00分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは 1 ヶ月毎 に各職員に前月の25 日までに通知する。	
		2) 始業 8 時00分～終業16時00分			
		3) 始業 8 時30分～終業16時30分			
		4) 始業 9 時00分～終業17時00分			
		5) 始業 9 時30分～終業17時30分			
		6) 始業15時30分～終業23時30分	20時00分～21時00分		
時差・ 半日勤務	土曜日	1) 始業 7 時30分～終業12時30分			
		2) 始業 8 時00分～終業13時00分			

別表19 看護助手

区 分 等		勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	平 日	1) 始業 8 時00分～終業16時00分 2) 始業 8 時30分～終業16時30分	①11時10分～12時10分 ②12時10分～13時10分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	勤務割りは1 ヶ月毎 に各職員に前月の25 日までに通知する。
通常・ 半日勤務	土曜日	始業 8 時00分～終業13時00分		

別表20 労務職員（栄養給食課に勤務する者を除く。）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
通常・ 全日勤務	始業 8 時00分～終業16時10分	①11時00分～12時00分 ②12時00分～13時00分 ①又は②のいずれかを交替により与える。	
通常・ 半日勤務	始業 8 時00分～終業12時10分		

栄養給食課に勤務する労務職員

別表21 一般食担当者（栄養士、調理師）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	1) 始業 6 時45分～終業15時30分	8 時10分～ 8 時45分 12時30分～13時30分	*勤務割りは1 ヶ月毎に各職 員に当該月の4 日前までに 通知する。 * 1 年間の勤務時間は別表 1 と同時間とする。
	2) 始業 8 時00分～終業16時10分	12時30分～13時30分	
	3) 始業10時30分～終業18時40分	13時30分～14時30分	
時差・ 半日勤務	1) 始業 6 時00分～終業10時45分 2) 始業 6 時45分～終業11時30分	8 時10分～ 8 時45分	

別表22 特別食担当者（栄養士、調理師）

区 分 等	勤 務 時 間	休 憩 時 間	備 考
時差・ 全日勤務	1) 始業 6 時45分～終業15時30分	8 時10分～ 8 時45分 12時30分～13時30分	*勤務割りは1 ヶ月毎に各職 員に当該月の4 日前までに 通知する。 * 1 年間の勤務時間は別表 1 と同時間とする。
	2) 始業 8 時00分～終業16時10分	12時30分～13時30分	
	3) 始業10時30分～終業18時40分	13時30分～14時30分	
通常・ 半日勤務	始業 6 時45分～終業11時30分	8 時10分～ 8 時45分	

現行別表

職 種 別	教 育 職 員 事 務 職 員 技術職員（看護員を除く）	看 護 員		労 務 職 員
		外 来 勤 務 者	病 棟 勤 務 者	
勤務 時間	始業午前 8 時30分 終業午後 4 時40分 (但し土曜日は 午後 0 時40分)	始業午前 8 時 終業午後 4 時 (但し土曜日は 午後 1 時)	日 勤①自 午前 8 時 至 午後 4 時10分 ②自 午前 8 時 至 午後 0 時10分 準夜勤 自 午後 4 時 至 午後11時10分 深夜勤 自 午後11時 至 午前 8 時10分 (但し、病棟勤務者は毎月 1 日を起算日とする 1 ヶ月 単位の変形労働時間制とす る。当該 1 ヶ月を平均し 1 週40時間以下の労働時間と なるよう当月分の勤務割り を前月25日までに定め、各 勤務者に通知する)	始業午前 8 時 終業午後 4 時10分 (但し土曜日は 午後 0 時10分)
勤務 の 種類	日 勤		三 交 替	日 勤
休憩	1 時間以内に於て随時与える			
休日	①. 日曜日 ②. 原則として 4 週間に土曜日の 2 日または 8 週間に土曜日以外の 2 日 (別に定める 4 週 6 休制度実施要項による) ③. 国民の祝日に関する法律に規定する休日 ④. 12月29日から翌年の 1 月 3 日までの日 (①②③に掲げる日を除く) ⑤. 本学創立記念日 ⑥. その他必要と認める時は臨時休日を設ける。 ただし、変則時間制又は交替制により勤務するときは週 1 日以上の日を確保するものとし、また 4 週間を通じて 6 日以上の日を勤務割表により定める。			

旅費支給規程の一部改正について

経費節減の一貫として、旅費支給規程第5条の一部が次のとおり改正されました。

(関係条文新旧対照表)

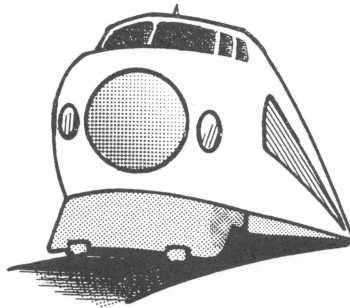
新				
(別表1)				
資 格		鉄 道 軌 道 賃	日 当	宿 泊 料
学 長	役員	グ リ ー ン 車	3,000円	14,800円
教 授	事務局長・事務局次長・部長	グ リ ー ン 車	2,600円	13,100円
助教授 講 師	企画室長・課長・技師長・ 婦長・看護専門学校教務主任	普 通 車	2,200円	10,900円
助 手	課長補佐以下の職員	普 通 車	1,700円	8,700円
附 則 (施行期日) 1 この改正は、平成9年10月1日から施行する。				
旧				
(別表1)				
資 格		鉄 道 軌 道 賃	日 当	宿 泊 料
学 長		グ リ ー ン 車	3,000円	14,800円
教 授	事務局長	グ リ ー ン 車	2,600円	13,100円
助教授 講 師	次長・部長・企画室長・課長・技師長・ 婦長・看護専門学校教務主任	グ リ ー ン 車	2,200円	10,900円
助 手	課長補佐以下の職員	普 通 車	1,700円	8,700円

通勤手当支給規程の一部改正について

経費節減の一貫として、通勤手当支給規程第2条の一部が次のとおり改正されました。

(関係条文新旧対照表)

新	旧
第2条 通勤手当の月額に左に掲げる1ヶ月の通勤に要する運賃の額の総額とする。但し5万円を限度とする。 1 交通機関が定期券を発行している場合は、<u>通常の方法で購入可能な、当該通勤利用区間の最も低廉な通勤定期券価格の月割額</u> 2 (省略) 2 (省略)	第2条 通勤手当の月額に左に掲げる1ヶ月の通勤に要する運賃の額の総額とする。但し5万円を限度とする。 1 交通機関が定期券を発行している場合は、<u>当該通勤利用区間の3ヶ月通勤定期券価格の月割額</u> 2 (省略) 2 (省略)
附 則 (施行期日) 1 <u>この改正は、平成10年1月1日から施行する。</u>	



〔計 報〕 山中太木元学長ご逝去



本学元学長で名誉教授の山中太木先生が、去る10月12日（日）急性心不全のため逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、告別式は10月15日（水）午前11時30分から高槻典礼会館において、御親族を始め、田中理事長、藤本学長他多くの大学関係者、故人所縁の方々の参列があり、しめやかに執り行われました。

後日、大学内において「偲ぶ会」を開催する予定です。

法人関係

8月1日付で、下記の方々が法人顧問として委嘱されました。

江村 利雄（高槻市長）
西島 文年（大阪府会議員）
森 日出男（藤田保健衛生大学名誉教授）

人事

〔採用〕

講 師	余田 篤（小児科学）	8. 1
助 手	權 五規（一般・消化器外科学）	〃
事務員	黒木 圭代（実験動物センター）	〃
技術補助員	當山 貴子（輸 血 室）	〃
助 手	藤野 優子（解剖学Ⅰ）	9. 1
〃	杉野 正一（内科学Ⅰ）	〃
〃	高谷 竜三（小児科学）	〃
〃	森田 琢也（胸部外科学）	〃
〃	金村 昌徳（産婦人科学）	〃
技術員	東 千亜紀（病院薬剤部薬剤課）	〃
講 師	竹内 栄一（脳神経外科学）	9.16
〃	松村 人志（神経精神医学）	10. 1
助 手	山本 員久（泌尿器科学）	〃
〃	豊田 裕敬（中央検査部）	〃
嘱 託	宮内 高義（総務部庶務課）	10. 1

技 術 員	上村規予子（輸 血 室）	10.16
〃	木下 香里（ 〃 ）	〃

〔退職〕

助 教 授	小西 和孝（小児科学）	7.31
助 手	金川泰一朗（一般・消化器外科学）	〃
看護婦	黒原ゆかり（病院看護部）	〃
〃	花崎かおり（ 〃 ）	〃
技術補助員	當山 貴子（輸 血 室）	8.12
診療助教授	増井 義一（内科学Ⅰ）	8.31
講 師	徳田 正邦（小児科学）	〃
〃	上田 陽彦（泌尿器科学）	〃
学内講師	折野 達彦（胸部外科学）	〃
助 手	折野 一郎（産婦人科学）	〃
事務員	西本 宏枝（財務部会計課）	〃
〃	下口 純子（病院薬剤部 薬品管理課）	〃
看護婦	柏尾 明美（病院看護部）	〃
〃	宮地 淑子（ 〃 ）	〃
技術員	吉田 知加（輸 血 室）	9.10
講 師	三宅 裕治（脳神経外科学）	9.15
助 手	左 光治（中央検査部）	9.30
〃	神田 宏治（周産期センター）	10.15
学内講師	高橋 由香（衛生学・公衆衛生学）	10.31
〔昇任〕		
小児科学助教授	田中 英高（講 師）	8. 1

第1内科 診療助教授	石原 正 (講 師)	9. 1
リハビリテーション 医学助教授	島田 恭光 (〃)	10. 1
小児科学講師	鈴木 周平 (学 内 講 師)	〃
脳神経外科学講師	小川 竜介 (助 手)	〃
放射線医学講師	上杉 康夫 (〃)	〃
整形外科 診療助教授	瀬本 喜啓 (講 師)	10.16
内科学Ⅰ講師	杉野 正一 (学 内 講 師)	〃

〔異 動〕

病理学Ⅰ助手	江頭由太郎 (内科学Ⅱ助手)	10. 1
--------	----------------	-------

〔委嘱・解嘱〕

(委 嘱)

学内講師

助 手	杉野 正一 (内 科 学 Ⅰ)	9. 1
〃	高橋 由香 (衛生学・公衆衛生学)	10. 1
〃	片山 博視 (小 児 科 学)	〃
〃	梶本 宜永 (脳神経外科学)	〃
〃	梁 壽男 (一般・消化器外科学)	11. 1

BULLETIN OF THE OSAKA MEDICAL COLLEGE編集委員会委員

診 療 教 授	福田 市藏 (内 科 学 Ⅰ)	8.12.18
助 教 授	高松 順太 (〃)	〃

自己点検・評価組織委員会小委員会(附属病院部会)委員

附属病院副院長 教 授	清水 章 (病態検査学)	8. 1
教 授	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	〃
助 教 授	末吉 公三 (放射線医学)	〃
〃	後山 尚久 (産婦人科学)	〃
講 師	島田 恭光 (リハビリテーション 医 学)	〃
学 内 講 師	坂根 貞樹 (内 科 学 Ⅰ)	〃
助 手	片山 博視 (小 児 科 学)	〃
〃	奥田 準二 (一般・消化器外科学)	〃
事務部長代理	平野 勝 (病院事務部)	〃
薬剤部長代理	伊藤 博 (病院薬剤部)	〃
看護副部長	小林千恵子 (病院看護部)	〃
技師長代理	岩本 暢泰 (中央検査部)	〃
会 計 主 任	津田 正博 (病院事務部 医事第二課)	〃

同上委員会委員長

附属病院副院長 教 授	清水 章 (病態検査学)	8. 1
----------------	--------------	------

平成9年・10年度機器共同利用センター運営委員会委員

助 手	相馬 義郎 (生 理 学 Ⅰ)	10. 1
-----	-----------------	-------

新入生学外合宿企画実行委員会委員長

教 授	鏡山 博行 (医 化 学)	10. 8
-----	---------------	-------

新入生学外合宿企画実行委員会副委員長

教 授	河野 公一 (衛生学・公衆衛生学)	10. 8
-----	-------------------	-------

新入生学外合宿企画実行委員会委員

教 授	勝 健一 (内 科 学 Ⅱ)	10. 8
〃	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	〃
助 教 授	東 克 (生 物 学)	〃
〃	北浦 泰 (内 科 学 Ⅲ)	〃
診療助教授	石原 正 (内 科 学 Ⅰ)	〃
講 師	宮本 学 (生 理 学 Ⅰ)	〃
〃	織田 行雄 (衛生学・公衆衛生学)	〃
学 内 講 師	豊田 昌夫 (一般・消化器外科学)	〃

大阪医科大学70年史編集委員会委員

助 教 授	伊東 重徳 (化 学)	10.15
-------	-------------	-------

ブレテスト委員会委員長

教 授	玉井 浩 (小 児 科 学)	10.16
-----	----------------	-------

ブレテスト委員会委員

教 授	米田 博 (神経精神医学)	10.16
助 教 授	田中 英高 (小 児 科 学)	〃
〃	草壁 秀成 (皮 膚 科 学)	〃
〃	島田 恭光 (リハビリテーション 医 学)	〃
講 師	前田 環 (病 理 学 Ⅱ)	〃
〃	杉野 正一 (内 科 学 Ⅰ)	〃
〃	島本 史夫 (内 科 学 Ⅱ)	〃
〃	諏訪 道博 (内 科 学 Ⅲ)	〃
学 内 講 師	豊田 昌夫 (一般・消化器外科学)	〃

大阪医科大学70年史編集委員会委員

理 事	吉田 康久	10.29
学 生 部 長	島田 眞久 (解 剖 学 Ⅱ)	〃
教 授	山本 隆一 (中央検査部)	〃

(解 嘱)

病理学兼任

助 手	江頭由太郎 (内 科 学 Ⅱ)	9.30
-----	-----------------	------

平成9年・10年度機器共同利用センター運営委員会委員

講 師	宮本 学 (生 理 学 Ⅰ)	9.30
-----	----------------	------

〔海外渡航〕

河野 公一 (衛生学・公衆衛生学教授)

イギリス (ロンドン)

ハンガリー (ブタペスト) 9. 7.19 ~ 9. 7.27

今井 雄介 (生理学Ⅰ教授)

アメリカ (ニューハンプシャー)

9. 8. 2 ~ 9. 8.12

- 浅井 一視 (生物学講師)
スウェーデン (ストックホルム)
9. 8. 5 ~ 9. 8. 17
- 玉井 浩 (小児科学教授)
中国 (北京) 9. 8. 6 ~ 9. 8. 9
- 清水 章 (病態検査学教授)
フィンランド (タンペレ) 9. 8. 21 ~ 9. 9. 1
- 渡辺 正仁 (解剖学Ⅱ助教授)
ブラジル (サンパウロ・カシャンブー)
9. 8. 22 ~ 9. 9. 4
- 島田 眞久 (解剖学Ⅱ教授)
ギリシア (ハルキニキ) 9. 8. 23 ~ 9. 8. 30
- 鏡山 博行 (医化学教授)
アメリカ (サンフランシスコ) 9. 8. 24 ~ 9. 8. 31
- 宮崎 彩子 (病態検査学助手)
フィンランド (タンペレ) 9. 8. 24 ~ 9. 9. 7
- 鈴木 廣一 (法医学教授)
ノルウェー (オスロ) 9. 8. 30 ~ 9. 9. 10
- 伊藤 裕啓 (病理学Ⅱ講師)
アメリカ (フィラデルフィア) 9. 9. 1 ~ 9. 11. 29
- 高松 順太 (内科学Ⅰ助教授)
デンマーク (コペンハーゲン) 9. 9. 2 ~ 9. 9. 8
- 玉井 浩 (小児科学教授)
マレーシア (ベナン) 9. 9. 3 ~ 9. 9. 8
- 江村 成就 (神経精神医学助手)
フランス (パリ) 9. 9. 6 ~ 9. 9. 12
- 小畑 仁司 (脳神経外科学学内講師)
オーストラリア (パース) 9. 9. 6 ~ 9. 9. 12
- 黒岩 敏彦 (脳神経外科学講師)
オーストラリア (パース) 9. 9. 6 ~ 9. 9. 13
- 勝岡 洋治 (泌尿器科学教授)
カナダ (モントリオール) 9. 9. 6 ~ 9. 9. 13
- 長谷川滋人 (胸部外科学学内講師)
アメリカ (ボストン、ニューヨーク)
9. 9. 6 ~ 9. 9. 13
- 田嶋 定夫 (形成外科学教授)
シンガポール 9. 9. 7 ~ 9. 9. 13
- 大宮 由香 (形成外科学助手)
シンガポール 9. 9. 8 ~ 9. 9. 13
- 島田 眞久 (解剖学Ⅱ教授)
中国 (北京) 9. 9. 9 ~ 9. 9. 13
- 阿部 宗昭 (整形外科学教授)
アメリカ (デンバー) 9. 9. 9 ~ 9. 9. 15
- 白井 久也 (整形外科学助手)
アメリカ (ボルティモア) 9. 9. 11 ~ 9. 9. 20
- 田嶋 定夫 (形成外科学教授)
アメリカ (サンタフェ) 9. 9. 13 ~ 9. 9. 19
- 篠田 恵一 (内科学Ⅰ講師)
杉野 正一 (学内講師)
アルゼンチン (ブエノスアイレス)
9. 9. 13 ~ 9. 9. 22
- 東 郁郎 (眼科学教授)
ドイツ (ベルリン) 9. 9. 17 ~ 9. 9. 22
- 上田 晃一 (形成外科学講師)
卞 勝人 (学内助手)
アメリカ (サンフランシスコ) 9. 9. 19 ~ 9. 9. 26
- 林 哲也 (内科学Ⅲ助手)
イタリア (ミラノ) 9. 9. 22 ~ 9. 9. 29
- 宮崎 瑞夫 (薬理学教授)
イギリス (ロンドン)
フランス (パリ) 9. 9. 26 ~ 9. 10. 5
- 植木 實 (産婦人科学教授)
チリ (コンセプション) 9. 9. 27 ~ 9. 10. 11
- 竹田 幹 (一般・消化器外科学講師)
日外 知行 (ICU助手)
アメリカ (ロサンゼルス) 9. 10. 3 ~ 9. 10. 12
- 高松 順太 (内科学Ⅰ助教授)
アメリカ (コロラドスプリングス)
9. 10. 10 ~ 9. 10. 19
- 瀬本 喜啓 (整形外科学講師)
フランス (ストラスブール)
ドイツ (ミュンヘン) 9. 10. 11 ~ 9. 10. 21
- 田中 孝生 (内科学Ⅲ講師)
アメリカ (ミネアポリス) 9. 10. 14 ~ 9. 10. 19
- 佐々木 聖 (小児科学講師)
メキシコ (カンクーン) 9. 10. 16 ~ 9. 10. 25
- 康 純 (神経精神医学助手)
稲田 泰之 (学内学内)
アメリカ (サンタフェ) 9. 10. 18 ~ 9. 10. 25
- 米田 博 (神経精神医学教授)
アメリカ (サンタフェ) 9. 10. 19 ~ 9. 10. 25
- 相馬 義郎 (生理学Ⅰ助手)
アメリカ (ナッシュビル・ロサンゼルス)
9. 10. 22 ~ 9. 11. 1
- 田中 英高 (小児科学助教授)
スウェーデン (イエーテボリ) 9. 10. 30 ~ 9. 11. 8

帰学

岡田 仁克 (病理学Ⅱ助教授)

アメリカ (ハーバード医科大学附属ブリガム・アンド・ウイメンズ病院) 8. 9. 1 ~ 9. 8. 31

私学振興財団私立大学等経常費補助金特別補助
「国際交流特別経費」のうち「海外研修派遣」該当分

留学

岡田 仁克 (病理学Ⅱ助教授)

アメリカ (ハーバード医科大学附属ブリガム・アンド・ウイメンズ病院) 9. 9. 14 ~ 10. 2. 28

山下 能毅 (産婦人科学助手)

ニュージーランド (ナショナルウイメンズ病院)
9. 9. 16 ~ 10. 9. 15

水口 博之 (医化学助手)

アメリカ (テキサス大学) 9. 11. 1 ~ 9. 11. 15 延長

新任教授紹介

神経精神医学教授



米 田 博 (43歳)

昭和54年 3 月

大阪医科大学卒業

昭和54年 6 月

大阪医科大学附属病院にて臨床研修開始

昭和55年 6 月

大阪医科大学助手

昭和57年 9 月 ~ 58年 9 月

アメリカ合衆国ロードアイランド州ブラウン大学精神医学教室へ留学

昭和62年 3 月 医学博士

昭和62年 5 月 大阪医科大学講師
(神経精神医学教室)

平成 4 年 4 月 同 助教授 (神経精神医学教室)

平成 9 年 7 月 同 教授

平成 9 年 7 月 16 日より、堺俊明前教授の後任として神経精神医学講座を担当させていただくことになりました。神経精神医学講座は、昭和 28 年、神経精神病学教室として設置され、満田久敏先生が初代の教授として就任し、その後昭和

51 年に堺俊明先生が第 2 代教授に就任されました。そして開校 70 周年の本年 3 月、20 年余にわたり教室を主宰された堺前教授は定年をむかえ名誉教授となり、私が第 3 代教授を拝命することとなりました。現在教室員は 50 名を越え、同門会も 200 名近くにまで発展した伝統ある教室の運営をまかされることになり、その責任の重さを痛切に実感しております。ことに最近の医学界、医療界の激変の中で、教室の良き伝統をいかに受け継ぎ発展させてゆくのか、もとより浅学非才の身ではございますが、多くの方々のご指導ご支援をお願いして、精一杯考え、行動したいと存じます。よろしくお願い申しあげます。

私は昭和 54 年本学を卒業後、神経精神医学教室にて臨床研修を開始し、以後内因性精神病を中心に精神疾患の診療に携わってまいりました。ことに教室の伝統である一例、一例から学ぶ臨床の重要性を堺名誉教授をはじめ多くの諸先輩から、さらにブラウン大学留学中は Prof. Tsuang から教えられてきました。このような臨床を基礎として、研究面では教室の伝統である精神科遺伝学を主要なテーマとして、臨床遺伝学的な研究手法、すなわち家系研究、家族歴研究、双生児研究などによって、精神疾患ことに精神分裂病や躁うつ病などの内因性精神病の病因を追求し、さらに疾病学的な分類体系の確立を目指してきました。また事象関連電位 P300 などの生物学的なマーカーを取り入れた遺伝学的な研究も進めてまいりました。このような満田教授、堺教授からの 40 年以上にわたる教室の伝統である臨床遺伝学から、最近では分子遺伝学的な手法を取り入れた研究もはじめています。当教室は、このような精神科遺伝学の他に、生体リズム、神経精神医学、児童思春期など、いずれも常に臨床を視野に入れた研究を活発に進めている新進気鋭の人材に恵まれています。これらの優秀なスタッフと共に、良い臨床医の育成を目指して教育、臨床、研究に邁進し、本学のさらなる発展にわずかなりとも寄与できればと考えております。

「第3回盛記念学術賞」受賞者決定

平成9年2月28日付で公募のあった、第3回盛記念学術賞には8名の応募がありました。

盛学術振興基金審査委員会での厳正な審査の結果、次の3名に対し「第3回盛記念学術賞」を授与することが決定し、9月1日（月）の午後2時から第2会議室において、学長を始め同運営委員他関係者出席のもとに授与式が行われました。

1. 助教授以下の教職員（賞金額：100万円）

- ・助教授（第3内科学）弘 田 雄 三

申請課題「多誘導長時間心電図連続記録解析装置（Easy Analysis of Graphics for Long-term ECG : EAGLE）の開発とその臨床応用」

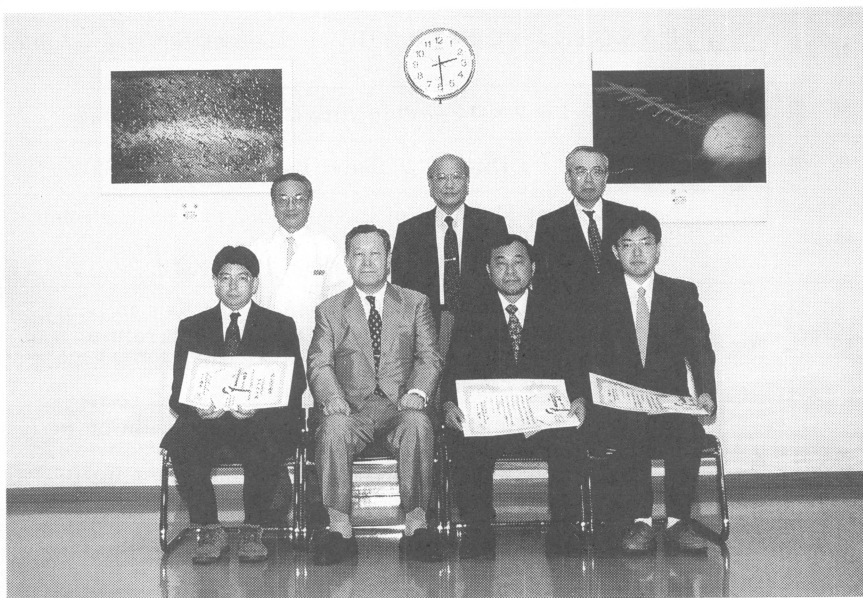
2. 助教授以下の教職員（賞金額：75万円） *申請順

- ・講師（薬理学）塩 田 直 孝

申請課題「循環器疾患の病態形成に果たす組織アンジオテンシンⅡの病態生理学的役割の解析」

- ・助教授（小児科学）田 中 英 高

申請課題「起立負荷に対する小児の心血管反応ならびに起立性調節障害の病態と治療に関する研究」



前列左から田中助教授、学長、弘田助教授、塩田講師
後列左から東教授、佐々木教授、河村教授

平成 9 年度（第 I 回）学位記授与

平成 9 年度第 I 回学位審査には、大学院医学研究科終了による者 5 名、論文提出による者 15 名の申請があり、所定の審査が行われました。

その結果、平成 9 年 7 月 23 日付をもって 20 名全員が合格し、翌 24 日（木）午後 2 時から学長及び指導教授出席のもと、授与式が行われました。

（平成 9 年 7 月 23 日付授与）

番 号	氏 名	論 文 題 名
甲第 544 号	神 原 清 人	Distribution of Fiber Types Determined by <i>in Situ</i> Hybridization of Myosin Heavy Chain mRNA and Enzyme Histochemistry in Rat Skeletal Muscles (<i>in situ</i> ハイブリダイゼーション法と酵素組織化学法によるラット骨格筋線維タイプの分布)
甲第 545 号	和 辻 利 和	Controlled gene expression with a reverse tetracyclineregulated retroviral vector (RTRV) system (Reverse Tet system を組み込んだレトロウイルスベクターによる遺伝子発現の制御)
甲第 546 号	寺 村 和 久	Virus Elimination and Histologic Improvement in Patients with Chronic Hepatitis C Treated with Interferon Alpha (慢性 C 型肝炎患者のインターフェロン- α 投与による HCV の排除と組織学的改善に関する検討)
甲第 547 号	杉 村 勝 一	Effects of Dietary Consistency on the Growth and Development of the Jaw in Growing Rats (硬度調節飼料が成長期ラット顎骨の成長発育に及ぼす影響に関する研究)
甲第 548 号	福 井 亮 介	Inhibition of smooth muscle cell migration by the p21 cyclin-dependent kinase inhibitor (Cip1) (サイクリン依存性キナーゼインヒビター (Cip1) の平滑筋細胞に対する遊走抑制作用)
乙第 755 号	柿 本 香	比重遠心法によって分離された HIV-1 感染培養細胞のウイルス産生能に関する研究
乙第 756 号	河 辺 圭 吾	天然型インターフェロン- α の <i>in vitro</i> における抗 HIV-1 効果
乙第 757 号	馬 淵 秀 明	大腸癌における CD 44 および Sialyl Le ^x 発現に関する研究
乙第 758 号	康 純	Lack of Point Mutation of the Amyloid Precursor Protein Gene in Schizophrenia (精神分裂病におけるアミロイド全脳体タンパク遺伝子の点突然変異の検討)
乙第 759 号	江 村 成 就	Bright Light Exposure and Seasonal Variations in Short Sleep-Wake Paradigm : Sleep Propensity and Rectal Temperature (Short Sleep-Wake Paradigm における高照度光照射と季節変動 : Sleep Propensity と直腸温)
乙第 760 号	香 月 脩 二	Effects of intraluminal or extraluminal endothelin on perfused rabbit basilar arteries (灌流システムを用いた家兎脳底動脈におけるエンドセリン内・外腔選択的投与の作用に関する研究)
乙第 761 号	沢 田 達	緑内障における視神経乳頭の形態変化と視野障害との関係 －共焦点レーザー走査型検眼鏡を用いて－
乙第 762 号	養 父 孝乃介	Displacements of Eyeball in Orbital Blowout Fractures (眼窩内骨折における眼球位置の変化)

番 号	氏 名	論 文 題 名
乙第763号	津 沢 悟	硬膜外圧計を用いた頭蓋内エラストンス測定の試み
乙第764号	浮 村 聡	Intracellular Viral Localization in Murine Coxsackievirus-B 3 Myocarditis : Ultrastructural Study by Electron Microscopic <i>in Situ</i> Hybridization (マウスのコクサッキー B 3 ウイルス性心筋炎におけるウイルス局在の研究 : 電顕的 <i>in situ</i> hybridization による超微形態学的研究)
乙第765号	山 崎 英 智	Possible regulation of intracranial pressure by human atrial natriuretic peptide in cerebrospinal fluid (髄液中ヒト心房性利尿ペプチドによる頭蓋内圧調節の可能性)
乙第766号	上 杉 康 夫	Studies on monitoring tumor response in head and neck to radiation therapy by using P-31 MR spectroscopy (頭頸部腫瘍における P-31 MR spectroscopy による放射線治療反応性のモニタリングに関する研究)
乙第767号	前 谷 悟	Ca ²⁺ 拮抗薬の眼循環障害に対する効果の基礎的および臨床的研究
乙第768号	藤 田 定 則	イレウス状態下における器械吻合の有用性に関する実験的研究
乙第769号	塩 崎 道 明	新しいラット慢性膵炎モデルの作製 — 膵液の粘稠性亢進の重要性 —



研究助成金の内定及び決定について

平成 9 年度 日本医師会医学研究助成費（社会）〔日本医師会〕

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	助 成 金 額
低濃度フッ化物暴露作業者の健康管理に関する研究 ― 腎毒性と加齢に伴う腎機能低下との相互影響について	衛生学・公衆衛生学 教授・河 野 公 一	200万円

平成 9 年度文部省科学研究費補助金（基盤研究（C））〔文部省〕

* 追加内定

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	内 定 金 額
仮骨延長法における骨形成促進のための低出力レーザー利用	整 形 外 科 学 助手・白 井 久 也	150万円

平成 9 年度厚生科学研究費助成金（新興・再興感染症研究事業）〔厚生省〕

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	決 定 金 額
地域住民検診におけるヘリコバクターピロリ菌感染の疫学に関する研究	第 2 内 科 学 講師・島 本 史 夫	100万円

第 5 回財団法人黒住医学研究振興財団研究助成金〔黒住医学研究振興財団〕

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	助 成 金 額
地域住民検診におけるヘリコバクターピロリ菌感染の疫学的調査	第 2 内 科 学 講師・島 本 史 夫	70万円

平成 9 年度（第29回）内藤記念科学奨励金（研究助成金）〔内藤科学振興財団〕

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	助 成 金 額
ノックアウトマウスを用いた痛み研究	麻 酔 科 学 助手・南 敏 明	130万円



平成10年度入学試験要項（概要）

平成10年度大学医学部・大学院医学研究科・看護専門学校、それぞれの入学試験要項が決定いたしましたのでその概要をお知らせします。

I) 医学部・医学科

1) 入学願書受付期間

平成10年1月5日（月）～1月30日（金）必着のこと

2) 学科試験日および試験科目

月 日（曜）	時 間	教 科	科 目（出 題 範 囲）
2月10日（火）	9：30～11：10 (100分)	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 数Aの科目中、平面幾何・計算とコンピューターを除く 数Bの科目中、算法とコンピューターを除く 数Cの科目中、数値計算・統計処理を除く
	12：30～14：30 (120分)	理 科	「物B・物Ⅱ」・「化B・化Ⅱ」・「生B・生Ⅱ」 の3区分中、2区分選択
	15：30～17：00 (90分)	外国語	英Ⅱ・リーディング・ライティング

3) 試験場

関西大学・千里山キャンパス第1学舎（法・文学部）（大阪府吹田市千里山）

4) 学科試験合格者発表

2月20日（金）午後4時 大学構内に掲示するとともに、出願者全員に対して、電子郵便で「学科試験合格者受験番号一覧表」を送付する。

5) 面接試験・小論文および健康診断

3月2日（月）午前8時20分（学科試験合格者について実施する）

6) 合格者発表

3月3日（火）午後5時、合格者を本学構内に掲示し、本人宛（保護者現住所）にも合格通知書並びに入学に関する手続書を送付する。

7) 入学検定料 50,000円

8) 納 付 金

項 目 \ 納 期	初 年 度 納 付 金			2 年 次 以 降 納 付 金（年 額）
	第1学期（入学手続時）	第2学期（9月15日）	第3学期（1月15日）	
入 学 金	1,000,000 円			
授 業 料	550,000 円	550,000 円	540,000 円	1,640,000 円
実 習 料	110,000 円	110,000 円	100,000 円	320,000 円
施設拡充費	370,000 円	370,000 円	360,000 円	1,100,000 円
教育充実費	5,000,000 円			900,000 円
合 計	7,030,000 円	1,030,000 円	1,000,000 円	3,960,000 円

★入学手続を完了した者で3月19日（木）正午までに書類により入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納付金を返還する。

（註）

- 1) 入学手続時に、PA会（保護者）会費（年額100,000円）のうち第1期分50,000円及び学友会入学金 5,000 円。学友会会費 10,000円 をそれぞれ委託徴収する。
- 2) 納付金には、消費税は課税されない。
- 3) 寄付金・学債等は一切募集しない。

Ⅱ）大学院・医学研究科

1) 入学願書受付期間

平成10年1月5日（月）～1月19日（月）（必着）

2) 入学試験日時、試験科目及び試験場

月 日（曜）	時 間	試 験 科 目	試験場
2月5日（木）	9:30～11:30	外 国 語	本 学
	12:30～13:30	健康診断	
	13:30～16:00	面 接	
2月6日（金）	14:00～16:30	専攻科目	

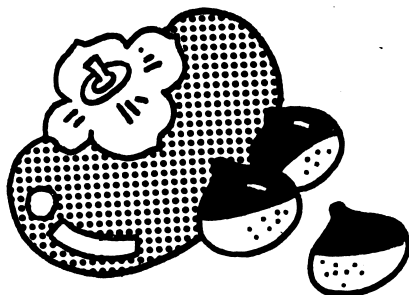
3) 合格発表

平成10年3月4日（水）午前9時本学内に掲示すると共に本人宛にも通知する。

4) 入学検定料 30,000円

5) 納 付 金

項 目 \ 納 期	初 年 度 納 付 金			2 年 次 以 降 納 付 金（年 額）
	第 1 期（入学手続時）	第 2 期	第 3 期	
入 学 金	230,000 円			
授 業 料	200,000 円	200,000 円	200,000 円	600,000 円
実 習 料	70,000 円	70,000 円	60,000 円	200,000 円
合 計	500,000 円	270,000 円	260,000 円	800,000 円



Ⅲ) 看護専門学校

一般入学試験

学 科	第一看護学科（三年課程）		第二看護学科（二年課程 全日制）	
募集人員	約 25 名		40 名	
受験資格	1）高等学校卒業のもの、又はそれと同等の資格を有する者 2）本年度中に上記の資格取得見込みの者		1）高等学校衛生看護学科卒業及び卒業見込者 2）高等学校を卒業し、准看護婦の資格を有する者 3）准看護婦の免許を取得してから3年以上看護業務に従事している者	
	1 次 試 験	2 次 試 験	1 次 試 験	2 次 試 験
試験日時	平成10年 2 月 1 日（日） 9:00～15:30	平成10年 2 月 3 日（火） 8:00～	平成10年 1 月26日（月） 9:00～12:20	平成10年 1 月27日（火） 8:30～
試験科目	筆記試験 国語Ⅰ（漢文を除く） 数学Ⅰ（二次関数・ 図形と数量） 数学A（数と式） 生物ⅠB・化学ⅠBの うちいずれか1科目選択 英語Ⅱ 適性検査	身体検査 面 接	筆記試験 一般科目 国語Ⅰ（漢文を除く） 数学Ⅰ（二次関数・ 図形と数量） 数学A（数と式） 英語Ⅰ 専門科目（准看護婦課程 において履修した科目） 適性検査	身体検査 面 接
試験場	高槻YMCA学院 高槻市八丁西町5番37号	大 阪 医 科 大 学 高槻市大学町2番7号	高槻YMCA学院 高槻市八丁西町5番37号	大 阪 医 科 大 学 高槻市大学町2番7号
合格発表	平成10年 2 月 2 日（月） 12:00	平成10年 2 月 9 日（月） 12:00 合否については本人宛 に郵送で通知する	平成10年 1 月27日（火） 8:00	平成10年 1 月31日（土） 12:00 最終合否については本人宛に郵送で通知する
	いずれも大阪医科大学正門の掲示板に発表する			
受験料	20,000 円			
受付期間	平成10年 1 月 6 日（火）～1月23日（金）消印有効 ※ 願書持参は平日 9:00～16:30, （土曜、日曜、祝日を除く）		平成10年 1 月 6 日（火）～1月16日（金）消印有効 ※ 願書持参は平日 9:00～16:30, （土曜、日曜、祝日を除く）	
学 費	入 学 金 150,000円 授 業 料 350,000円（年間） 実験実習料 50,000円（年間）			

推薦入学試験
(指定高校制)

学 科	第一看護学科（三年課程）
募集人員	約 15 名
受験資格	平成10年3月高等学校卒業見込者
推薦基準	推薦者は1学校1名 1) 成績がA段階またはB段階であること。 2) 心身共健康で将来看護婦となるに適している者であること。 3) 専願で合格後必ず入学すること。 4) 学校長の推薦があること。 5) 原則として卒業後本学附属病院に就職すること。
試験日時	平成9年11月13日（木）9:00～
試験科目	筆記試験 国語Ⅰ（漢文を除く）・小論文試験 面接試験 適性試験 身体検査
試験場	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号
合格発表	平成9年11月25日（火） 可否については学校に通知するとともに本人に通知する。
受験料	20,000 円
受付期間	平成9年11月4日（火）～ 11月7日（金）消印有効 ※ 願書持参は平日9:00～16:30 （土曜、日曜、祝日を除く）
学 費	入 学 金 150,000円 授 業 料 350,000円（年間） 実験実習料 50,000円（年間）



教 室 紹 介

放 射 線 医 学 教 室

— 臨床に精通した医師の養成 —

放射線医学教室は昭和5年(1930)にわが国の放射線医学創始者の一人である浦野多門治先生を非常勤講師として招き開講した。昭和26年(1951)に浦野先生の指導を受けた本学出身の柴田定一先生が初代教授に就任されたが、病気のため昭和33年に退任された。昭和34年(1959)に第2代教授として京都大学から赤木弘昭先生が就任され、平成2年(1990)に定年退職された。同年4月に植林 勇現教授が第3代教授に就任し、現在に至っている。

現在の教室員は植林教授以下助教授2名、講師3名、助手7名である。他に兼担の学内講師1名がいる。あとは、専攻医、研修医、大学院生である。

現在の教室の教育指導方針は update な臨床に精通した放射線医の養成であり、診療は勿論のこと、研究面でもこの原則に従って画像診断の進歩と放射線治療を中心とした悪性腫瘍の治療成績の向上を目的とした研究を行っている。診療面では、一般X線写真、CT、MRI、SPECT など各種画像の教室員の読影のレベルは高く、日本医学放射線学会など関連の多くの学会のフィルムリーディングセッションなどで高い評価を得ている。

血管撮影・IVR は胸部、腹部、骨盤、四肢などを担当し、特に原発性肝癌の塞栓術は成績が良好である。また、非小細胞肺癌Ⅲ期症例では、CDDP 動注同時併用放射線治療を施行し、生存率が良好であり、注目すべきは従来の治療方法では考えられない期間まで再発を見ない cure 症例があることである。更に甲状腺原発を中心とする悪性リンパ腫では放射線治療と化学療法の併用によりⅠ期、Ⅱ期では殆どの症例で再発をみていない。

当教室の特長の一つは消化管、気管支など内

視鏡検査を行っていることである。これは治療経過や効果の判定とともに、最終的な診断材料をとる手技を自らもつことで悪性腫瘍の診療の幅を広げている。また胸部 CT 下穿刺術を行っている。

研究面では、超高速 MRI のエコープラナーイメージング、MRA、腹部の拡散 MR イメージング、リンおよびプロトン MRS、呼吸器核医学、腫瘍核医学、心臓核医学、SPECT の吸



収、散乱補正による画質の向上、肺血管の3D-CT アンジオグラフィー、Xe-CT による肺換気動態の測定、3次元放射線治療計画、温熱療法のための温熱シミュレーションなどについての研究を行っている。

教育にもかなりの力を入れ、平成8年11月には植林教授編集、教室の助手以上全員の執筆による医学生のための教科書『〈重要項目〉放射線医学』を発刊した。放射線医学の進歩は急速であり、幅広い分野を含み、基礎的には放射線物理学、放射線生物学、放射線障害に関する事柄、医療被曝の軽減、放射性医薬品や造影剤に関する薬品学などがあり、臨床的にはX線診断学、核医学、放射線治療学があり、これらを網羅した教科書を教室で発刊できたことは意義深い。教室の雰囲気は和気あいあいであり、しっかりまとまっており、放射線医学教室は画像診断、核医学、IVR、放射線治療の分野で今後益々の発展が期待される。

(文責：植林)

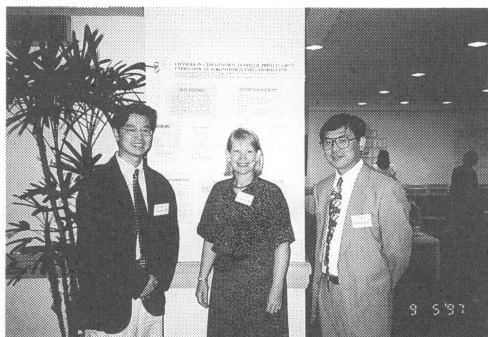
海外出張記

— SFRR-Asia に参加して —

小児科学教室教授

玉井 浩

Society for Free Radical Research (SFRR) の meeting は international meeting として 2 年ごとに開催され、来年は第 9 回大会がブラジルで開かれる。生物学、医学、生化学、生理学などの異なった分野の研究者が集い、Free Radical 研究の基礎と臨床のかけ橋としての学会である。年々規模が大きくなり、西暦 2000 年には日本での開催が予定されている。この Free Radical 研究はアメリカ、ヨーロッパ、日本が先端を走っているが、天然資源からの抗酸化物質の発見やパーム油の抗酸化ビタミンなどアジア諸国での研究が注目されている。しかし、日本以外のアジア地域での研究者は少ない。そこで、これらの地域での研究を活性化することを目的に各国に SFRR 支部が設けられた。今回はそのアジア地区での初の合同会議 (SFRR-Asia) が 9 月 4 ~ 7 日マレーシア・ペナンで開催されたのである。



金Drのポスターの前で、ビタミンEの選択的吸収機構を研究している米国の Maret G. Traber 先生を囲んで

大阪医科大学からは私と金漢錫Drが出席した。私は教室の荻原享講師らが中心になって研究している未熟児の慢性肺疾患と活性酸素との

関係を口頭発表し、金Drは STZ 誘発糖尿病ラットにおける肝臓中ビタミンE 輸送蛋白質の合成亢進についてポスター発表した。このポスターはあとで学会の selected paper の 1 つに選ばれた名誉をいただいた。



1786年フランシス・ライトが最初に上陸した場所に建造されたコーン・ウォリス要塞にある大砲の前で

学会のあったマレーシア・ペナン島はマラッカ海峡にうかぶ南北 24km、東西 15km の小さな島である。歴史上名高いイギリスの東インド会社が東西貿易の中継地として拠点を置いていたため古くより栄え、リゾート地としても有名である。途中 Transit として立ち寄ったランカウイ島はダイビング・スポットとして近年観光開発されているようである。我々が滞在した時はインドネシアの焼き畑農業 (一種の山火事) による煙害 (スモッグ) のためどんより曇った

日がつづき、またちょうど雨期であったため時折激しいスコールにも見舞われるなど天候には恵まれなかったが、第一回の大会は無事支障なく全日程を終え収穫の多い大会であった。次回は1999年インド・ニューデリーで SFRR-Asia meeting 開催が決まり、2000年まで毎年世界各地で SFRR meeting が開催されることになった。

今回の海外出張は時差は一時間と短かったため肉体的には楽であったが、機中一泊で朝に帰国すると午後からは回診があるなど、リゾート地ペナンはすぐに遠い世界に追いやられ、日本での生活そのものがフリーラジカル連鎖回転であることに気付いた次第である。

海外渡航記

— 倫敦怪奇談 —

法医学教室 大学院四年

辻 洋子

～学会前に妙なことをするんじゃない～

本年8月20日～23日、アイルランド、ダブリンで開かれた“17th Congress of the International Academy of Legal Medicine”に出席するため、そして、その前にロンドンで夏休みを過ごそうと、私が関空を発ったのは、8月10日のことでした。



ダブリン郊外。これが個人の「庭」の風景です。

一つ目の災難は、ロンドンについたその夜に起こりました。なんと、宿泊していたホテルが火事！ 幸い、私も荷物も無事でしたが、何とも寿命の縮む思いでした。

さて、二つ目の災難が起こったのは、それから三日後の昼下がり。

私は、「リージェント・パーク」という広大な



アイルランドに現存する数少ない石塔。

公園にいました。よく晴れた日で、私はのどかな気持ちで歩いていました。

ところが。人気のない小道に分け入った途端、風に乗って私の鼻に届いたのは……我々法医学者にはあまりにも馴染みの匂い——つまり……「生き物の腐った匂い」だったのです。

「これは……何だろう？ 何が腐ってるのかな」

黙って通り過ぎればいいものを、私は辺りの茂みを掻き分け、中を覗き込んでしまったのです。愚かでした。

そこで私が見たものは、死後一週間は経とうという、女性の死体。見つけてしまったのはさすがに知らん顔もできず、近くの売店の店員に、警察に通報してもらいました。駆けつけた警官は早速、「胡散臭い東洋人の小娘（私のことですよ）」に尋問を開始しました。

「君はいったい何だってそんな場所を覗いたのか？」

匂いでわかった、と言っても、彼の疑惑を増大させるだけ。私はやむなく、「自分は日本で某医科大学の法医学教室に所属している」と打ち明けました。しかし悲しいかな、「日本で医者だ」と言っても、イギリスでは何の役にも立ちません。「証明しろ」と言われても、まさか医師免許証を持ち歩いているはずもなく……。

途方に暮れて鞆を探った私の指先に触れた、少しヨレた紙片。それこそは、昨年、箱根で開催された国際学会でお会いしたとき戴いた、イギリス法医学の権威、ナイト先生の名刺だったのです！ 私は思わずそれを警官に突きつけ、叫びました。

「私のボスは、この人の親しい友達だ！（もちろん大嘘）」

おかげで何とか私の素性に対する疑いは解けたのですが、今度は警官による口頭試問が始まってしまいました。

「君が本当に法医学者ならわかるだろう。この死体は、死後何日かね？」

……本当に「学会前に余計なことはするものでない」という神の声が聞こえるような気がした（それとも、教授の声でしょうか？）、この夏の思い出話です。

平成9年度解剖慰霊祭

平成9年度の解剖慰霊祭が、10月18日（土）午後2時から高槻現代劇場において、ご遺族、さつき会々員（生前献体登録者）及び来賓各位約400名をお迎えし、本学役員、教職員並びに学生、看護専門学校生の参列のもと、おごそかに執り行われました。



消防避難訓練

10月23日（木）午後2時から、高槻中消防署と合同で夜間・休日体制における消防避難訓練が行われました。

当日は附属病院35病棟病室から出火したことを想定して、消防ハシゴ車による救出訓練、救助袋による避難等、火災緊急時における患者さんの生命と安全を守るための真剣な訓練が行われました。



模擬患者の避難



ハシゴ車による救出

優良勤労障害者労働大臣表彰

9月9日（火）大阪市MIDシアターで開催された「大阪府障害者雇用促進大会」において、優秀な職業人として他の模範となった功績に対し、本学附属病院リハビリテーションセンター技師長小田省三氏に労働大臣表彰がありました。

看護専門学校戴帽式

看護専門学校第一看護学科生徒49名に対する戴帽式が10月13日（月）午後1時から本学臨床第一講堂において、来賓及び保護者の方々をお迎えし挙行されました。



大学祭'97「メイクヒストリー」

盛況にて終了

今年はテーマを「メイクヒストリー」と決め、10月11、12日に開催致しました。快晴の秋空の下、たくさんの方々においで頂き、予想以上に盛り上がった大学祭とすることができました。

本学70周年ということもあり、今回は外にアピールする意味もこめて11日の斉藤和義のコンサートにかなりのウエイトをおいて企画しました。当日はチケットもほぼ完売し、大変盛り上がりました。12日は学生参加型の企画にしました。6年生も参加して頂け大変よかったと思います。

スタッフ一同、不慣れであったため、至らない点も多数あったかと思います。それにもかかわらず、親切に御指導、協力をして下さった方々にここから感謝致しております。

1997大学祭実行委員長代理 矢野 裕

第49回西医体

ゴルフ部、卓球部（女子）が優勝、

各クラブ大いに健闘

第49回西日本医科学生総合体育大会は、宮崎医科大学を総合主管校として西日本の44大学が参加し九州地区を中心に7月26日～8月10日の日程で20種目の競技が行われました。

本学の主な成績は次のとおりです。

総合成績 第10位（総合得点 244.5点）

上位成績 優勝 ゴルフ部、卓球部（女子）

4位 バスケットボール部

（男子）

卓球部（男子）

周知のとおり、本学の伝統は“文武両道”であり、殆どの学生が夏の西医体を目指して、放課後のクラブ活動に日々精進しております。

残念ながら今回はその努力が報われない総合成績となりましたが5年生以下の学生は心機一転して次回の捲土重来を期して目標を定め真剣にクラブ活動に取り組んでいます。我々は来年こそはこの努力が報われるに違いないと確信しておりますのでどうか先輩諸氏、教職員の方々には温かいご支援御指導をお願い致します。

なお今年度をもってクラブ活動を引退される6年生の方々本当にお疲れ様でした。我々の最も身近な先輩として今後もよろしくお願い致します。

平成9年度 体育会委員長

吉田友和

女子卓球部

全員がベストな状態で試合に臨み、その結果優勝することができたのでとてもうれしいです。次は、二連覇を目指して頑張りたいと思います。

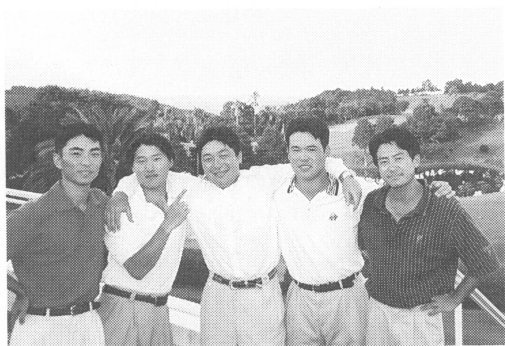
（関係写真：次ページ）



卓球部女子部員一同

ゴルフ部

ゴルフ部初の西医体三連覇ができ、非常に嬉しく思っています。来年も優勝できるように一年間頑張っていきたいと思います。



三連覇のゴルフ部員一同

主要会議とその主な議題

7月16日から10月31日までの主要な会議とその主な議題は次のとおりです。

〔理事会〕

(7月8日)

－審議事項－

1. 大阪医科大学学生納付金のスライド制の実施について
2. 学校法人大阪医科大学顧問委嘱について

－報告事項－

1. 創立70周年記念事業について
2. 平成8年度の医事紛争について

(9月9日)

－審議事項－

1. 大阪医科大学大学院学生納付金の改訂につ

いて

2. 大阪医科大学大学院学位論文審査に係る手続料及び審査料の改訂について
3. 学校法人大阪医科大学通勤手当支給規程の一部改正について
4. 学校法人大阪医科大学旅費支給規程の一部改正について

－報告事項－

1. 創立70周年記念事業について
(10月14日)

－審議事項－

1. 大阪医科大学学則の一部改正について
2. 学校法人大阪医科大学就業規則の一部改正について

－報告事項－

1. 創立70周年記念事業について
2. 中山国際医学医療交流センターについて
3. 監事報告

〔教授会〕

(7月23日)

1. 人事に関する件 (助教授の任用他)
2. その他

1) BULLETIN編集委員の委嘱について
(9月10日)

1. 人事に関する件 (助教授の任用他)
2. 第1学年学生の休学願出に関する件
3. 第6学年仮進級者の前期試験不合格科目の可否判定に関する件
4. 学則中の一部改正に関する件
5. 入学式の期日変更に関する件
6. 第5学年プレテスト実施に関する件
7. 第6学年の後期(卒業)試験実施方法等の変更に関する件

(9月24日)

1. 人事に関する件 (助教授の任用他)
2. 第6学年後期試験の成績判定基準の一部変更に関する件
3. 大阪医科大学病理解剖受託規程(案)に関する件

(10月8日)

1. 人事に関する件 (診療助教授の任用他)
2. その他

- 1) 機器共同利用センター運営委員会委員の変更について
- 2) プレテスト委員会委員の委嘱について
(10月22日)
1. 人事に関する件（講師の任用について）
2. 平成10年度授業時間割編成に関する件

〔大学院医学研究科委員会〕

- (7月23日)
1. 学位論文審査結果に基づく合（可）否決定に関する件
(9月10日)
 1. 研究生の願出に関する件
 2. 平成10年度大学院納付金及び同学位論文審査料の改訂について
(10月8日)
 1. 大学院学則及び学位規程中の一部改正に関する件
(10月22日)
 1. 平成10年度大学院学生募集に関する件
 2. 学位論文受理に関する件

- 21日（日）看護専門学校冬期休業
(1月7日まで)
- 24日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 25日（木）医学部学生冬期休業
- 1月5日（月）年賀交歓会
医学部及び大学院入学願書受付開始
(医学部：1月30日まで)
(大学院：1月19日まで)
- 6日（火）看護専門学校入学願書受付
第一看護学科〔3年課程〕
(1月23日まで)
第二看護学科〔2年課程〕
(1月16日まで)
- 7日（水）第5学年診断学実習開始(9日まで)
- 8日（木）第1・3・4学年授業開始
教授会・大学院医学研究科委員会
- 12日（月）第2学年オリエンテーション
第5学年臨床実習開始
- 14日（水）学位論文締切
- 20日（火）理事会
- 21日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 26日（月）看護専門学校第二看護学科入学試験
- 27日（火） 同上

主な行事日程表

11月1日から平成10年1月31日までの学内に
おける主要な行事予定は次のとおりです。

- 11月2日（日）グルジア・トビリシ大学長来学
- 5日（水）医学会秋季学術講演会
関連病院長会議
- 11日（火）理事会
- 12日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 13日（木）看護専門学校第一看護学科推薦
入学試験
- 26日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 29日（土）理事会・評議員会
- 12月1日（月）第2学年学年末試験(17日まで)
- 6日（土）実験動物慰霊祭
- 8日（月）学位論文提出のための語学試験
- 9日（火）理事会
- 10日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 17日（水）第5学年臨床実習に関するオリ
エンテーション
- 18日（木）第5学年プレテスト

附 属 病 院

平成10年度臨床研修医募集要項

平成10年度本学附属病院の臨床研修医募集要項が下記のとおり決定いたしました。

募 集 要 項

1. 募集人員

全科で100名以内とする

2. 研修科目

第 1 内 科,	第 2 内 科
第 3 内 科,	精 神 神 経 科
一般・消化器外科,	胸 部 外 科
脳 神 経 外 科,	整 形 外 科
小 児 科,	産 婦 人 科
眼 科,	耳 鼻 咽 喉 科
皮 膚 科,	泌 尿 器 科
放 射 線 科,	麻 酔 科
歯 科 口 腔 外 科,	形 成 外 科

中央検査部・病態検査学

3. 応募資格

原則として当年施行の医師国家試験合格見込の者および医師免許証を有する者

4. 出願期間

平成 9 年12月 1 日 (月) から

平成10年 1 月31日 (土) まで

5. 提出書類

- (1) 臨床研修医願書
- (2) 履歴書 (JIS 日本工業規格使用、上半身の写真を貼付のこと)
- (3) 住民登録票
- (4) 卒業 (見込) 証明書および推薦書
- (5) 健康診断書
- (6) 国家試験合格証書又は医師免許証 (写)

6. 選考方法

各科個別におこなう

詳細は、各科より出願者に通知する

7. 臨床研修許可発表

郵送をもって通知する

8. 臨床研修開始予定 平成10年 5 月 1 日 (金)

なお、臨床研修実施にあたり医師国家試験発表後各科において打ち合わせを行い、平成10年 4 月28日 (火) に全科合同のオリエンテーションを行う予定

9. その他

各科研修カリキュラムは別に定める

平成 9 年度上半期附属病院患者動態

本年度上半期の患者動態は下記のとおりです。

(平成 9 年 4 月～平成 9 年 9 月)

	入院患者数	外来患者数	対前年度増減率%	
			入院患者数	外来患者数
H 9 . 4	(880.1) 26,402	(2,670.8) 61,428	0.60	△ 1.09
H 9 . 5	(887.2) 27,504	(2,656.5) 61,100	3.67	△ 2.57
H 9 . 6	(904.7) 27,140	(2,641.6) 60,756	2.01	1.54
H 9 . 7	(895.3) 27,755	(2,673.1) 64,154	1.30	△ 5.53
H 9 . 8	(878.9) 27,247	(2,477.7) 59,464	2.56	△ 3.80
H 9 . 9	(882.2) 26,467	(2,662.5) 58,575	4.93	1.16
合 計	(888.1) 162,515	(2,629.3) 365,477	2.49	△ 1.83

() 内は、1 日平均患者数

*平成 9 年度上半期入院関係稼動日数183日 (平成 8 年度も同)
外来関係稼動日数139日 (平成 8 年度137日)

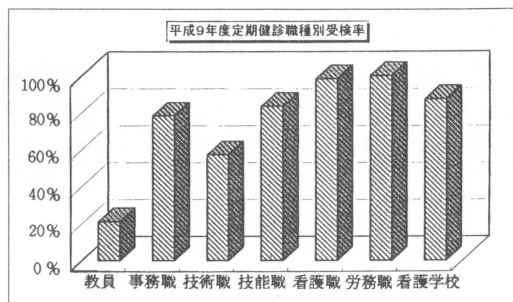
保健管理室からのお知らせ

++++ 平成9年度 教職員定期健康診断終える +++++

教職員健康診断は学校保健法、結核予防法、労働基準法に基づいて実施しています。今年度は9/30(火)～10/16(木)3週間に亘って実施しました。期間中関係部署の方々には大変なご協力を頂きありがとうございました。今年初めての試みとして生活習慣病健診者を対象として同時時間帯に他の項目も受検できるようにした為スタッフも慣れなかったり、狭いスペースで混雑したりでご迷惑をかけましたが、例年血液検査だけで終了していた人が他の項目も受検したため項目別受検率がアップしました。

結果については下記のとおりです。

平成9年度定期健診職種別受検率



平成9年度定期健診職種別受検率

職 種	対象者 (人)	受検者 (人)	受検率 (%)
教 員	3 2 5	6 9	2 1
事 務 職	2 2 3	1 7 5	7 8
技 術 職	2 2 5	1 2 9	5 7
技 能 職	5 5	4 6	8 4
看 護 職	7 0 6	6 9 5	9 8
労 務 職	5 8	5 8	1 0 0
看護学校	1 6	1 4	8 8
合 計	1 6 0 8	1 1 8 6	7 4

平成9年度生活習慣病健診受検率 (35、40歳以上) (25歳は貧血検査のみ)

	対 象 者 数	採 血
教 員	2 0 8	5 3
事 務 職	1 0 7	9 0
技 術 職	1 1 4	9 3
技 能 職	2 7	2 5
看 護 職	2 1 1	2 0 4
専任教員	8	8
労 務 職	5 9	5 5
合 計	7 3 4	5 2 8 (72%)

	対 象 者 数	聴 力	心 電 図
教 員	2 0 6	4 1	4 1
事 務 職	9 3	7 6	7 9
技 術 職	1 0 6	8 2	8 6
技 能 職	2 6	2 4	2 3
看 護 職	1 5 4	1 5 7	1 5 0
専任教員	8	8	8
労 務 職	5 7	5 6	5 7
合 計	6 5 0	444 (68%)	444 (68%)

平成9年度定期健診項目別受検率

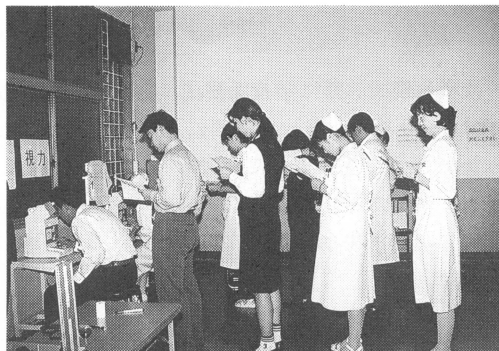
	対 象 者 数	身長・体重	尿 検 査	視 力	血 圧	レントゲン
教 員	3 2 5	3 4	3 1	3 5	4 0	2 6
事 務 職	2 2 3	1 4 8	1 4 6	1 4 8	1 5 7	1 4 7
技 術 職	2 2 5	8 4	7 6	7 5	8 5	7 7
技 能 職	5 5	4 2	4 2	4 1	4 1	3 9
看 護 職	6 9 4	6 8 7	6 7 9	6 7 7	6 7 6	6 7 8
専任教員	1 6	1 3	1 3	1 0	1 3	1 3
労 務 職	5 8	5 6	5 7	5 1	5 5	5 5
合 計	1 5 9 6	1064(67%)	1044 (65%)	1037 (65%)	1067 (67%)	1035 (65%)

体内脂肪計 TBF-202（１内科内分泌班）１台を設置し測定を行いました。これは立位で体に微弱な高周波電流を流してインピーダンス（電気抵抗）を測定することによって、体脂肪が計算できるものです。長蛇の列ができ配慮不足の面もあったかと思いますが、時宜にかなっていた為か、お互いに話題にしたり、質問したり、関心が高かったようです。

体脂肪率と BMI については別の機会に健康管理医より報告する予定です。

結果については、健診システム導入後初めての報告書でスタッフも慣れない為トラブル続きで遅くなってしまいました。

結果通知を参考に自分の健康状態を把握し、自分の体の変調に注意する“セルフケア”と早期発見、早期治療の“メディカルケア”で生活習慣病に備えて下さい。次年度より血液検査の基準値欄を作成する予定です。なお、個人票は健診期間が終了したら速やかに保健管理室まで返却する様お願い致します。



視力検査

結果について

A
異常なし

健康診断の結果、異常がありませんでした。ただし、検査をした範囲内であるということに留意しておいて下さい。

B
経過観察

検査の結果若干の異常があるけれども、日常生活に注意をし、もう少し様子をみて下さい。

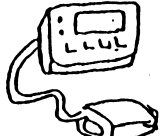
C
要精密検査

病気があるかもしれないので、さらにくわしくもう一度検査し、治療が必要なので医師に相談して下さい。

D
継続治療

すでに経過観察中であつたり、治療中の人で引きつづき医師の指示を受けて下さい。

() あなたの健康診断の結果はいかがでしたか。

指摘された事項	日常生活の気配り (自己管理のポイント)
太りぎみ 	食べすぎ、飲みすぎ、間食について見直して下さい。 食事の時間が不規則か、夕食の時間が遅くありませんか。 運動不足ではありませんか。 月に一度は体重を測って下さい。
血圧が高い 	過労を避けて、十分な休養と睡眠を心がけて下さい。 上手に気分転換をし、イライラや緊張感をほぐして下さい。 塩分を控え、薄味になじみましょう。 深酒やたばこを避けましょう。 冬の外出や入浴等の急激な温度の変化に気をつけましょう。
尿に異常 	必ずしも病気ではありませんが精密検査を受けて原因を確かめてみましょう。
肝機能に異常 	太りすぎてませんか、標準体重に近づけましょう。 アルコールを控え、休肝日は週に2日以上設けましょう。 肉、魚、牛乳、大豆製品等の良質の蛋白質を摂りましょう。 脂肪の多い肉類をさけ、ゴマ油等の植物性の油を摂りましょう。 十分な睡眠と食後に30分ぐらい体を横にする
血中脂質が高い 	卵等のコレステロールを多く含む食品は控えましょう。 動物性の脂肪を植物性の油に。(牛肉より魚肉に) 食べ過ぎや飲みすぎを控え、体重のコントロールを。 生活の中に積極的に運動を取り入れましょう。
貧血ぎみ 	インスタント食品や外食を控え、偏食せず1日3食を心がけましょう。 豚レバー、緑黄色野菜などの鉄分や葉酸、ビタミンを多く含む食品を摂りましょう。 胃、大腸検診、女性は婦人科検診を受けましょう。
心電図に異常 	精密検査を受けて原因を究明し、医師の診察をおこたりにく。煙草は止めましょう。 規則正しい生活をし、ストレス、疲労を溜めないようにしましょう。 歩く等の軽い運動を医師の指示の範囲内で続けましょう。



掲 示 板

B型肝炎第3回ワクチン接種

平成9年12月3日(水) PM2:30～3:30 第10会議室

平成9年12月4日(木) 〃 〃

B型肝炎ワクチン接種後抗体検査

平成10年1月21日(水) PM2:30～3:30 第10会議室

平成10年1月22日(木) 〃 〃

仁泉会関係者への送付について

本号から、仁泉会関係者の方々への学報の送付が、仁泉会事務局より送付されることになりました。

『仁泉会ニュース』と同時発送するため、これまでより到着が遅れることがあります。何卒ご了承下さいますようお願いいたします。

郵便番号変更について

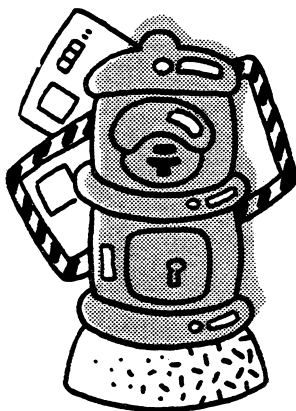
平成10年2月から全国の郵便番号の変更されます。つきましては、この変更にもとない本学固有の郵便番号を次のとおり登録しましたのでお知らせいたします。

これにより、本部キャンパスでは郵便番号と大阪医科大学(各所属名)を記載するだけで本学へ届くことになります。

本部キャンパス 569-8686

さわらぎキャンパス 569-0084

(平成10年2月から)



大阪医科大学俳句会(七／八／九月)

ばらばらに同じ月見る砂丘かな

塚本 務人

雄鶏の棟で鳴きたり天神祭

今井 雄介

南瓜食ひ食中毒と無縁かな

中川 一成

シユシユポポと廃線歩く曼珠沙華

同

釜飯の底のざらつき黍の風

奥田 筆子

秋の雲少し千切つて艾かな

同

縮まりて手のひらに入る嬰水着

吉田 孝江

豆の笹傾けて聞く秋の潮

同

梅雨の宿目覚めの悪きガスコンロ

飯塚 久子

一山の葛飛び級の長と短

同

看板に浮気調査も稲熟るる

山崎 隆司

八つの槽八つの首垂り新酒かな

同





カリンカを熱唱する水兵

創立70周年記念祝賀会では、ロシア太平洋艦隊合唱団（アンサンブル）の素晴らしい歌と踊りが会場を大いに湧かせました。



団長への花束贈呈

金屏風と菰樽が並んだ舞台に、ロシアの民族衣装を着た踊り子と水兵服姿のアンサンブルが似合うかしらん、という心配を見事に吹き飛ばす名演奏でありました。

大阪医科大学学報 第34号

発行年月	平成9年11月
発行	学校法人 大阪医科大学
発行責任者	事務局長 多田 数義
編集・発行	総務部庶務課